

在宅避難をするためには

在宅避難をするためには十分な備えが必要です

在宅避難にはメリットも多くありますが、自宅の安全性が十分に確保されている必要があります。また、支援物資や情報が十分に届きにくいなど、デメリットもあります。十分に備えたうえで、在宅避難をしましょう。

在宅避難をするためのチェックと備え

①自宅の耐震診断をしましょう

ネットで手軽に耐震診断ができます。ぜひ活用して下さい。

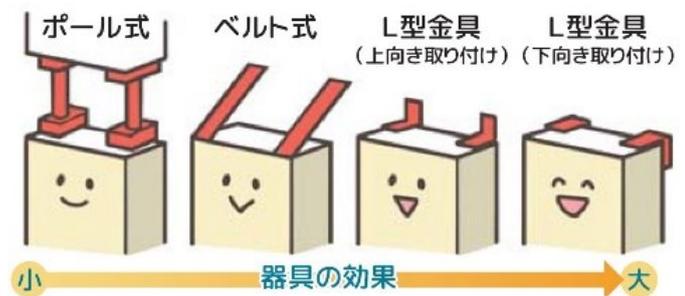
誰でもできるわが家の耐震診断

検索 🔍



②家具の転倒防止をしましょう

阪神淡路大震災では8割以上の方が、建物の倒壊や家具の転倒の下敷きとなって亡くなりました。自宅の家具や冷蔵庫の転倒防止をして命を守りましょう。



③火災報知器を確認しましょう

自宅に設置されている火災報知器はきちんと作動しますか？
少なくとも年に1回はテストをして動作確認をしましょう。



④備蓄品を準備しましょう

被災地への支援物資は、個人宅にはほとんど届かないので、在宅避難する場合は、個人で備蓄をしておく必要があります。ライフラインが停止した場合も想定し、飲料水や食料品、衛生用品、医療品などを準備しましょう。



⑤地域の防災活動に参加しましょう

在宅避難では、人的・物資の支援や情報の不足により復旧に時間がかかってしまう危険性があります。このような事態にならないよう、日頃から地域の防災活動に参加し、誰からどのように支援が受けられるのかを確認しておきましょう。

